



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日

上場会社名 株式会社 シーティーエス 上場取引所 東
コード番号 4345 URL https://www.cts-h.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横島 泰蔵
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経理財務部長 (氏名) 北原 巻雄 TEL 0268-26-3700
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,597	0.4	566	6.5	584	10.4	388	9.7
2023年3月期第1四半期	2,587	5.4	531	0.2	529	4.5	354	1.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 550百万円 (72.8%) 2023年3月期第1四半期 318百万円 (△7.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	9.17	—
2023年3月期第1四半期	8.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,358	10,645	74.1
2023年3月期	14,741	10,582	71.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 10,645百万円 2023年3月期 10,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.50	—	11.50	22.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期第2四半期末配当の内訳 1株当たり10円50銭（普通配当 8円00銭 記念配当 2円50銭）

2023年3月期期末配当の内訳 1株当たり11円50銭（普通配当 9円00銭 記念配当 2円50銭）

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,500	4.6	1,230	2.6	1,200	3.4	840	8.1	19.82
通期	11,500	6.5	2,800	4.0	2,770	1.8	1,930	9.7	45.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期1Q	43,400,000株	2023年3月期	43,400,000株
2024年3月期1Q	1,020,845株	2023年3月期	1,020,845株
2024年3月期1Q	42,379,155株	2023年3月期1Q	42,379,155株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）の当社グループの主要顧客である土木・建築業界を取り巻く環境に関し、公共投資については、引き続き国土強靱化計画に基づく防災対策等の対応もあり、底堅く推移しました。また、民間投資については、概ね堅調に推移しました。他方で、建設現場における人材不足、資材価格の高騰等の与える影響については、予断を許さない状況が続いております。

こうした状況において、当社グループでは新たな付加価値の創出を目指し、2024年3月期から2026年3月期までの3カ年を対象とした中期経営計画を策定いたしました。当社グループでは従来、建設業・建設現場を主要顧客として、主に建設現場を支援する商品・サービスの開発と提供に努めてまいりました。近年では建設ICTの専門企業として、特にハードレンタルを主としたITインフラ環境の構築支援を積極的に展開してまいりました。しかし、今後においてはハードレンタルを主としたビジネスから脱却し、建設現場の業務支援に特化してデータ・情報関連サービスを統合的に提供していくことにより付加価値を創出するビジネスへと事業転換を図ってまいります。その中核がDDS事業において統合的なサービス体系として開発・強化を進めている「サイトアシストサービス」です。「サイトアシストサービス」では、当社が建設現場向けに提供している各種ICTサービス（「クラウドストレージサービス」・「クラウド映像サービス」・「コミュニケーションサービス」・「通信・ネットワークサービス」・「プリンティングサービス」）を統合的に提供していくことで、建設業界における現場の見える化及び情報・データの利活用の推進を強力に支援してまいります。

こうした考えに基づき、本中期経営計画期間を、個別商品・サービスのレンタルではなく、「サイトアシストサービス」により、情報・データに基づく付加価値を提供していく企業へ姿を変えるための移行期間ととらえ、次の通り中期経営方針及び目標を定め、活動してまいります。

<中期経営方針>

『ハードを主体としたITインフラのレンタル企業』から、『データ・情報関連サービスを統合的に提供し（サイトアシスト）、建設現場の業務を支援する建設ICTの専門企業』へ変身する

どこへ

- ・地場ゼネコンから広域ゼネコンへターゲット拡大
- ・土木系から建築系へ対象顧客の業種拡大

何を

- ・ハード主体のITインフラサービスからデータ・情報関連が中心のデジタルデータサービスへ（サイトアシストサービス）

どのように

- ・マーケティング・インサイドセールス機能の強化
- ・DDS事業により、効率的に顧客開拓・顧客基盤の構築を推進

<中期経営目標>

・売上高	140億円（2023年3月期対比 30%超）
・営業利益	36億円（2023年3月期対比 30%超）
・営業利益率	25%超
・ROE	20%超
・リピート率（※）	90%超

※リピート率は、直接的なユーザーである現場代理人を対象に、下記の計算式で算出しております。

$$\text{リピート率} = \frac{\text{前期取引があり、かつ当期取引があった現場代理人数}}{\text{前期取引があった現場代理人数}}$$

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、クラウドストレージサービスをはじめとしたDDS商品・サービスの営業に注力した結果、既存顧客を中心に受注が堅調に推移し、売上高は2,597百万円（前年同期比0.4%増）となりました。利益面では、付加価値の高いDDS事業のレンタル・サブスクリプションサービスの売上高が堅調に推移したことから、売上総利益が1,270百万円（前年同期比4.3%増）となりました。また、販売費及び一般管理費は、主に処遇改善等による人件費の増加に加え、マーケティング活動を含む営業活動費用が増加したことから、704百万円（前年同期比2.5%増）となり、営業利益は566百万円（前年同期比6.5%増）となりました。以下、営業外損益の改善により、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益においても前年同期を上回る実績となりました。

また、リピート率につきましては、クラウドストレージサービス等のサブスクリプションサービスの提供拡大及び現場単位取引の法人契約化（BtoB取引化）の増加により、57.7%（前年同期比1.0pt増）となりました。

※リピート率の計算に関して、分子である「前期取引があり、かつ当期取引があった現場代理人数」につきましては当期累計実績を参照しているのに対して、分母である「前期取引があった現場代理人数」につきましては、前年通期の実績を参照しておりますので、リピート率は経過とともに高まっていく見込みです。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の実績は、下記表のとおりとなりました。

▼当社グループ

(単位：百万円、%)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	前年同期比
売上高	2,587	2,597	0.4
営業利益	531	566	6.5
営業利益率	20.6	21.8	1.2pt
経常利益	529	584	10.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	354	388	9.7

▼主要KPI

(単位：%)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	前年同期比
リピート率	56.7	57.7	1.0pt

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<DDS事業 (デジタルデータサービス事業: Digital Data Service) >

当事業につきましては、営業面では、「クラウドストレージサービス」・「クラウド映像サービス」・「コミュニケーションサービス」・「通信・ネットワークサービス」・「プリンティングサービス」等について複合的な提案活動に注力してまいりました。その結果、収益面では既存顧客を中心に受注が堅調に推移し、当事業の売上高は1,365百万円 (前年同期比5.9%増) となりました。利益面は、「クラウドストレージサービス」「クラウド映像サービス」をはじめとしたレンタル・サブスクリプションサービスの売上高伸長により売上総利益が増加しました。また、営業・マーケティング活動費用の増加に加え、デジタル機器管理センターの体制強化に伴う人件費の増加などにより、販売費及び一般管理費も増加いたしました。売上総利益の増加が大きく、セグメント利益 (営業利益) は350百万円 (前年同期比2.6%増) となりました。

また、商品開発面では「サイトアシストサービス」の開発に努めてまいりました。その結果、「サイトアシストサービス」について、第2四半期連結会計期間後半より本格的に営業活動していく目途が立ちました。

<SMS事業 (測量計測システム事業: Surveying Measurement System) >

当事業につきましては、中期経営計画に基づき、既存顧客及びDDS商品・サービスによる新規獲得顧客をターゲットに、レンタルによる測量計測システム等の提案を行うことで、レンタルの普及と効率的な営業活動に努めてまいりました。併せて測量機器販売エリアの縮小・ICT施工関連のレンタル商材の絞り込みを進めたことから、レンタル・販売ともに前年同期を下回り、当事業の売上高は870百万円 (前年同期比8.2%減) となりました。利益面は、レンタル売上高はある程度維持できたことなどから売上総利益率は改善した一方、売上高の減少が大きく、売上総利益は減少しました。また、販売費及び一般管理費については、レンタルを主とした業務の絞り込みによる管理コストの削減・営業活動の効率化などにより減少したものの、売上総利益の減少が大きく、セグメント利益 (営業利益) は130百万円 (前年同期比6.0%減) となりました。

<その他 (※) >

その他につきましては、売上高は361百万円 (前年同期比3.0%増) となりました。セグメント利益 (営業利益) は86百万円 (前年同期比65.1%増) となりました。

▼セグメント

(単位: 百万円、%)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	前年同期比
DDS事業			
売上高	1,288	1,365	5.9
セグメント利益	341	350	2.6
セグメント利益率	26.5	25.7	△0.8pt
SMS事業			
売上高	947	870	△8.2
セグメント利益	138	130	△6.0
セグメント利益率	14.6	15.0	0.4pt
その他 (※)			
売上高	351	361	3.0
セグメント利益	52	86	65.1
セグメント利益率	14.8	23.8	9.0pt

※SH事業につきましては、2024年3月期から2026年3月期までの3ヵ年を対象とした中期経営計画より、DDS事業への注力に伴う重要性の低下を想定し、「当四半期決算に関する定性的情報」のセグメント上「その他」へ変更いたしました。その結果、「その他」はSH事業、道路標示及び標識の工事等が含まれております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は14,358百万円となり、前連結会計年度末と比較して383百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が545百万円、リース資産（純額）が103百万円減少した一方で、投資有価証券が232百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は3,712百万円となり、前連結会計年度末と比較して446百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が339百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は10,645百万円となり、前連結会計年度末と比較して63百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益388百万円の計上、その他有価証券評価差額金が162百万円増加した一方で、剰余金の配当487百万円を行ったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は74.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移しており、2023年4月28日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,272	5,727
受取手形及び売掛金	1,672	1,570
棚卸資産	366	271
その他	401	309
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	8,710	7,876
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	1,916	1,813
その他(純額)	1,754	1,750
有形固定資産合計	3,671	3,564
無形固定資産	113	174
投資その他の資産		
投資有価証券	2,140	2,373
その他	112	378
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	2,245	2,743
固定資産合計	6,031	6,482
資産合計	14,741	14,358
負債の部		
流動負債		
買掛金	481	407
未払法人税等	499	159
その他	1,764	1,746
流動負債合計	2,745	2,314
固定負債		
リース債務	1,183	1,090
その他	230	308
固定負債合計	1,413	1,398
負債合計	4,159	3,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
利益剰余金	8,159	8,061
自己株式	△722	△722
株主資本合計	10,437	10,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144	306
その他の包括利益累計額合計	144	306
純資産合計	10,582	10,645
負債純資産合計	14,741	14,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,587	2,597
売上原価	1,369	1,326
売上総利益	1,218	1,270
販売費及び一般管理費	686	704
営業利益	531	566
営業外収益		
受取配当金	59	58
その他	1	1
営業外収益合計	60	59
営業外費用		
支払利息	13	10
持分法による投資損失	31	31
租税公課	18	—
営業外費用合計	63	41
経常利益	529	584
税金等調整前四半期純利益	529	584
法人税、住民税及び事業税	159	178
法人税等調整額	14	17
法人税等合計	174	195
四半期純利益	354	388
親会社株主に帰属する四半期純利益	354	388

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	354	388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	162
その他の包括利益合計	△35	162
四半期包括利益	318	550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318	550
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	DDS事業	SMS事業	SH事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	633	672	17	1,323	87	1,411	—	1,411
その他の収益 (注) 3	655	274	245	1,176	0	1,176	—	1,176
外部顧客への売上高	1,288	947	262	2,499	88	2,587	—	2,587
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,288	947	262	2,499	88	2,587	—	2,587
セグメント利益	341	138	40	519	11	531	—	531

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」に基づき認識したレンタル収益が含まれております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	DDS事業	SMS事業	SH事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	597	613	11	1,221	95	1,316	—	1,316
その他の収益 (注) 3	767	257	255	1,280	0	1,280	—	1,280
外部顧客への売上高	1,365	870	266	2,501	95	2,597	—	2,597
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,365	870	266	2,501	95	2,597	—	2,597
セグメント利益	350	130	63	544	22	566	—	566

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」に基づき認識したレンタル収益が含まれております。